

取扱説明書



型番：TKCNKETT
Version1.0. t

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度の区分



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の図記号



してはいけない
内容です。



実行しなければな
らない内容です。



- 改造や分解をしない
(感電や漏電による火災の原因)



- 交流 100V 以外では使わない (日本国内 100V 専用)
(感電や漏電による火災の原因)



- 定格 15A・交流 100V の単独コンセントを使う (他の器具と併用すると発熱による火災の原因)



- 電源コードは破損したまま使わない。電源コードを傷つけない束ねない、無理に曲げない、傷つけない、加工しない、重いものをせない、挟み込まない、引っ張らない、ねじらない、コードを持って抜かない (感電や漏電による火災の原因)



- 電源プラグにほこりが付着している場合にはよく拭き取る (火災の原因)



- 水は満水目盛り以上入れない (湯の吹きこぼれの原因)



- 蒸気口を手で触れない
- 蒸気口をふきんなどでふさがない (やけどのおそれ。お湯のふきこぼれ、ふたの変形の原因)

■お守りいただく内容の図記号



してはいけない
内容です。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(感電・ショート・発煙・発火のおそれ)



- 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時には使用しない
(感電・ショート・発火の原因)



- ぬれた手で差込プラグの抜き差しをしない
(感電やケガのおそれ)



- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない
(やけど・感電・ケガのおそれ)



- 水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショート・故障のおそれ)



- 異常・故障時には直ちに利用を中止する (そのまま使用すると火災・感電・ケガのおそれ)

- ・電源コードを折り曲げると通電したりしなかつたりする。
 - ・いつもより異常に熱くなったり、焦げ臭い匂いがする。
 - ・電源コードや差し込みプラグが異常に熱くなる。
 - ・製品に触るとビリッと電気を感じる
 - ・その他、異常や故障がある。
- この様な場合にはすぐに電源プラグを抜いて弊社サポートまでご連絡ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度の区分



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 勢いよくフタを閉めない
(お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ)



- フタを付けたまま残り湯を捨てない
(外れた時に湯がかかるおそれ)



- フタは確実に閉める
(倒れた時に湯がもれる原因)



- 水以外のものは入れない
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使わない (ふきこぼれや内容器の焦げ付き、腐食、故障やけどの原因)

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度の区分



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



- カラだきをしない
(水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因)



- 火気の近くでは使わない
(変形・故障の原因)



- 吸・排気孔をふさぐような場所や、室温の高い場所（約40度以上）では使わない。
カーペット、ビニール袋などの上には、置かない。感電や漏電、火災・故障の原因。

■お守りいただく内容の図記号



してはいけない
内容です。



実行しなければな
らない内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度の区分

△ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の図記号



してはいけない
内容です。



実行しなければな
らない内容です。



- アース線を取り付ける
(アース線を取り付けないと漏電の時
感電のおそれ)



- タコ足配線はしない
(火災のおそれ)



- 調理以外の目的で使わない
(火災の原因)



- 不安定な場所や、熱に弱いテープ
ルや敷物などの上で使わない
(火災の原因)



- 壁や木製家具の近くでは使用しな
い

蒸気や熱で壁や家具を痛めたり、火災や変
色の原因となるおそれ。収納棚などでお使
いの場合には中に熱がこもらないよう使用
する。



- 使用中は本体から離れない
使用時は必ず本体のそばにいて調理の様子
を見ながら使用すること。



- 水のかかりやすい場所や、底部が
濡れるような所に置いて使わない
(ショート・感電・故障の原因)



- 本体の上に食材や水の入ったコッ
プなどを置かない
本体やものが変形・変質したり、火災の原
因。水がこぼれた場合、感電・火災・故障
の原因)



- 使用中や使用後しばらく高温部に
ふれない
やけどの原因。



- お手入れは冷えてから行う
高温部にふれ、やけどのおそれ。



- 本体の丸洗いはしない。
本体内部や底部に水をいれない。ショート・
感電のおそれ。



- 高い位置に設置しない。
調理物を取り出すとき、本体に手が触れや
けどのおそれ。



- フタを開けたりはずすときに出る
上記や露にふれない
(やけどのおそれ)

アース線の取り付け

必ずお守りください

⚠️ 警告



アース線を取り付ける アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

◆アース線を取り付けてください。

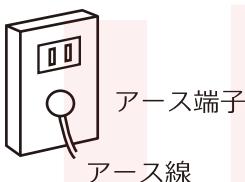
□万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。

□アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

□据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行って下さい。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



アース端子がない場合

アース工事をしてください。

(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています)

⚠️ 注意



次のようなところには、アース線を接続しない（法令などで禁止）

ガス管、電話線、避雷針、水栓（蛇口）

・水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源（コンセント）

⚠️ 警告



□電源コードを傷つけない。

- ・傷つけない、加工しない。
- ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
- ・加重をかけない、挟み込まない

□ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

□傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない。

□タコ足配線をしない、延長コードを使用しない。

● セット内容

①



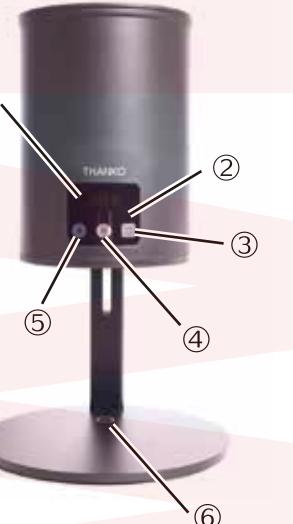
②



- ①本体
②電源コード（170cm）

● 各部名称

①



②

③

④

⑥

- ①タイマー表示液晶
②沸騰ランプ
③START/STOPボタン
④マイナスボタン

⑦



⑧

- ⑤プラスボタン
⑥注ぎ口目安
⑦高さ調整レバー
⑧電源プラグ

● 使い方

●初めてお使いになるとき／長時間お使いにならなかつたときは、一度湯をわかし、湯を捨ててからご使用下さい。

●ミネラルウォーター、アルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物やポット内部に乳白色のざらざらしたものが付く場合があります。これはミネラル分で有害ではありません。ミネラルウォーター、アルカリイオン水を使用する場合は、こまめにお手入れをしてください。



①電源コードを本体の電源プラグに差し込み、コードのプラグをコンセントに差し込みます。ピーッと音が鳴ります。



②高さ調整レバーを倒し、ロックを解除します。



● 使い方



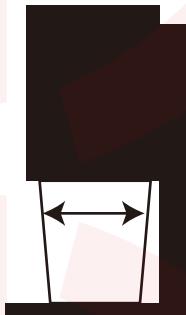
③本体を持ち上げ、一番上まで引き上げます。一番上まで上げたら、レバーを上げてロックします。



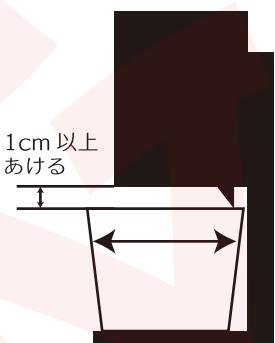
④本体台座には注ぎ口の目安があります。この印に向かってお湯が排出されますので、カップ麺を台座に置いてください。



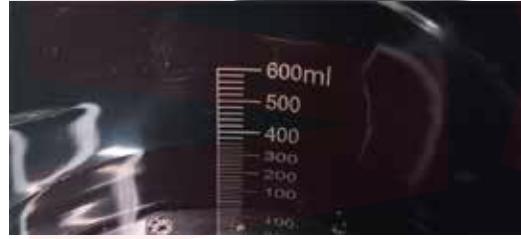
⑤本体タンクの大きさが直径約 12cm になります。カップ麺のフタサイズが 12cm より小さい場合は、フタを完全に剥がし、本体タンクをカップフチにくっつく高さまで下げてください。フタサイズが 12cm より大きい場合は、フタを半分ほど開け、注ぎ口に合わせます。また注ぎ口が約 1cm の長さになるので、本体とカップ麺の間を 1cm 以上あけてください。



12cm 以下
フタを完全にとり
本体でフタをする



● 使い方



⑥再度高さ調整レバーを倒し、カップ麺のサイズに合わせて高さを調整します。高さが調整できたらレバーを上げてロックしてください。

⑦フタを開け、水を注ぎます。

この時、注いだ水が全てお湯として排出されます。水を入れる前に計量カップなどで水の量を測り、カップ麺に対して適切な量の水を入れてください。

本体タンクの内側には水量の目安の印が刻まれています。水を入れる際の参考にしてください。

● 使い方



⑧水を入れましたら、フタを確実に閉めてください。

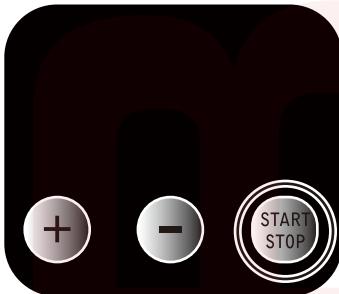


蒸気口は必ず奥側へ向けてください。手前になると蒸気でやけどする可能性があります。



以上で準備完了です。

● 操作パネルの使い方



①操作パネルの START/STOP ボタンを押し電源を入れます。



「ピッ」という音がし、液晶にタイマー時刻が点滅しながら表示されます。

0:30、1:00、1:30～9:00と30秒刻みで最大9分まで設定ができます。

また電源を切った場合でも前回設定したタイマーの分數が記憶されています。



②プラスボタン、マイナスボタンを操作し、カップ麺の調理時間に合わせてタイマー時刻を調整します。

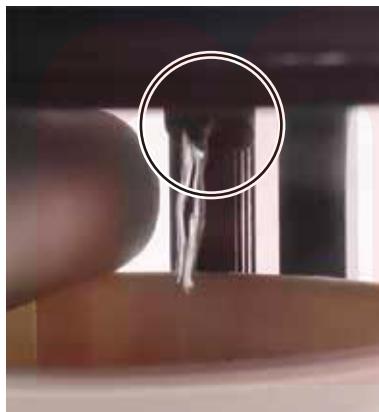


③タイマー時刻を調整しましたら、START/STOP を押してください。

「ピッ」という音がなり、沸騰ランプが点滅し、加熱が始まります。

※沸騰中に START/STOP ボタンを押すと沸騰が止まり、電源が切れます。

● 操作パネルの使い方



④お湯が沸騰しましたら、「ピッ」と音が鳴り、本体注ぎ口からお湯が排出されます。

沸騰の際のご注意

加熱中は本体のフタを外さないようご注意ください。蒸気でやけどするおそれがあります。また、注ぎ口の印にカップ麺が正しくセットされているかどうかをご確認下さい。本製品は沸騰すると湯が自動で排出されますのでご注意ください。

※排出中に電源 off すると排出をやめることができます。



⑤お湯の排出が完了しましたら、フタが付いている場合は火傷に注意してカップ麺を引きだし、フタをします。(※フタなしの場合はそのままにしてください)

タイマーが開始されます。カウントダウン中は沸騰ランプがすばやい点滅になります。タイマーの時刻が来ると、アラームが鳴り電源が切れます。

カップ麺を取り出してください。

フタ、本体が大変熱くなっていますので、火傷に注意してください。

● エラーメッセージ

水が入っていないなどの状態で加熱を行うと警告音が鳴り、液晶にエラー記号が表示されます。

表示記号	意味
E0	水がない／少ないので、水を追加してください
E3	温度過上昇のため、しばらく待つか水を追加してください

上記のエラー記号が表示されたら、電源プラグを抜き、しばらく待ってから再度使用してください。

表示記号	意味
E1	断線しているので、修理が必要です
E2	ショートしているので、修理が必要です

上記のエラー記号が表示されたら、ただちに使用を止め、電源プラグを抜き、弊社サポートまでご連絡ください。

● 使用後



使用後はコードをコンセント・本体から抜き、残った湯を捨てて下さい。※湯や湯気に触れて火傷しないようご注意下さい。

ポット外側の汚れはよく絞ったやわらかい布などでふき取って下さい。水につけて洗わないでください。フタ、携帯用カップはやわらかいスポンジで洗って下さい。みがき粉やタワシ、ブラシ等を使用すると傷つく可能性がありますので使用しないでください。

ご注意

本体は防水ではありません。洗う時は内側をゆすぐだけにして下さい。
汚れや腐食のおそれがありますので、水以外のものをわかさないで下さい。



ご注意

※フタを開ける際は大量の蒸気がでるので火傷にご注意ください。

※本体を水につけたりかけたり、本体の丸洗いはしないでください。

※燃えやすい物の近くや、熱に弱い物の上で使用しないでください。

※火傷の恐れがあるので、使用中や使用後しばらくはシリコン部や本体の金属部には触れないでください。

※子供の手の届かない場所でご使用・保管してください。

※記載されている物以外は付属いたしません。

※落としたり強い衝撃を与えないでください。

※分解しないでください。

※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。

※仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。

● 仕様

サイズ 最小：250×250×260mm
 最大：250×250×330mm

重さ 1600g

付属品 本体、電源コード、日本語説明書

定格電圧 AC100

定格周波数 50/60Hz

定格消費電力 800W

定格容量 0.6リットル

タイマー設定 30秒～9分

サーミスタ温度 125度

ヒューズ温度 192度

保証期間 12カ月(※保証に関しては国内使用に限る)

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートを受ける際に必要となりますので、保管して下さい。

サポートのご案内

◆修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応させていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください。(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付頂けます。

弊社ウェブサイトにて新しいマニュアルを公開している場合がございます。(PCサイトのみ)

<https://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&Aページに記載している場合がございます。

<https://www.thanko.jp/support/qa.html>

◆メールでのお問合せ

お客様のお名前、商品名、お問合せ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡下さい。(マイクロソフト、Yahoo、携帯メールアドレスでは返信できない場合があります)

support@thanko.jp

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷に関してはサポート外となります。

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4階

TEL 03-3526-4328 FAX03-3526-4329

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

